


| | | | | |
|------|---------|----|-------|-------------|
| 整理番号 | HT26054 | 分野 | 生活、生物 | (キーワード)閉鎖療法 |
|------|---------|----|-------|-------------|

千葉大学

傷を治す体の仕組みを免疫細胞から考えてみよう

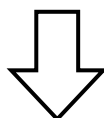
| | | | |
|---|---|------------|---|
| 先生(代表者) | 野村 純(のむら じゅん) 教育学部・教授 | |  |
| 自己紹介 | 私の学生時代は免疫について、特にBリンパ球が骨髄で作られるしくみについて研究をしていました。現在は、大学で傷が治るしくみや細胞が移動する分子メカニズムを調べています。趣味は、釣りと空手です！ラグビー部の顧問をしています。 | | |
| 開催日時・ 主な募集対象 | 平成26年8月2日(土) | (対象) 中・高校生 | (人数) 20名 |
| 集合場所・時間 | 千葉大学 教育学部4号館2階実験室 | (集合時間) | 9時30分 |
| 開催会場 (集合場所) | 千葉大学 教育学部(西千葉キャンパス)4号館、5号館 住所:〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 アクセスマップ: http://www.chiba-u.ac.jp/access/nishichiba/ http://www.chiba-u.ac.jp/campus_map/nishichiba/ | | |
| 内 容 | | | |
| <p>皆さんはけがをしたとき、このような経験をしませんでしたか？</p> <p>傷口を水で洗い、消毒し、傷口が乾燥してかさぶたができるのを待つ。</p> <p>実はこのように傷口を乾燥させるよりも、「早く」「きれいに」「痛くなく」傷を治す治療法があるのです！それが「閉鎖療法」です。「閉鎖療法」とは何か、なぜ「閉鎖療法」だと傷の治りが早いのかを科学的に考えてみませんか？</p> <p>このプログラムでは、講義を通して傷が治るまでの過程を学習します。次に実験を通して、実際に傷の治癒に重要な役割を持っている免疫細胞(白血球)を観察します。</p> <p>見かけではわからない細胞レベルの事象を一緒に探っていきましょう！</p> | | | |
| スケジュール | | 持 ち 物 | |
| 9:30~10:00 | 受付(西千葉キャンパス教育学部4号館2階実験室) | 筆記用具 | |
| 10:00~10:20 | 開講式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明) | ノート | |
| 10:20~10:40 | アイスブレイク(アートコミュニケーションによる自己紹介) | 飲み物 | |
| 10:40~11:20 | 講義(創傷治癒の過程) 終了後10分休憩 | | |
| 11:30~12:30 | 実習(1)血液スマアー標本の作製 | 特 記 事 項 | |
| 12:30~13:30 | 昼食交流会(教員、大学院生、卒研生との交流) | | |
| 13:30~14:00 | P1、P2 実験施設見学 | | |
| 14:00~14:30 | 実習(2)Ficolによる白血球細胞分離 終了後10分休憩 | | |
| 14:40~15:20 | 実習(1)続き 血液スマアー標本の観察 | | |
| 15:20~15:40 | 実習(2)続き 白血球細胞の観察 終了後10分休憩 | | |
| 15:50~16:20 | 講義(免疫細胞と創傷治癒)・本日のまとめ | | |
| 16:20~16:45 | 修了式(アンケート記入、未来の博士号授与) | | |
| 16:45 | 終了、解散 | | |

《お問い合わせ・お申し込み先》

| | |
|---------|--|
| 所属・氏名： | 教育学部・野村 純(のむら じゅん) |
| 住所： | 〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町 1-33 千葉大学教育学部内「サイエンススタジオ CHIBA」支援室 |
| TEL 番号： | 043-290-2584 |
| FAX 番号： | 043-290-2584 |
| E-mail： | mirai-kagaku@office.chiba-u.jp |
| 申込締切日： | 平成26年7月15日(火) |

《プログラムのテーマと関係する科研費》

| 研究代表者 | 研究期間 | 研究種目 | 課題番号 | 研究課題名 |
|-------|-------------|----------|---------|----------------------------------|
| 野村純 | 基盤研究 (C) | 20500612 | H20-H22 | テトラスパニンウェブ依存性細胞接着におけるメカニカルストレス受容 |



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。